

第 91 回神奈川県立座間谷戸山公園 現場研修会報告

—テーマ :谷戸山公園まつりの準備とシュミレーション—

11月の研修では、11月25日に開催される谷戸山公園まつりの準備とシュミレーションを行いました。



すっかり晩秋の田んぼでは、二番穂も所どころで見られました。
午前の研修は、これまで継続して管理を行ってきた皆伐更新エリアでのまつりの準備からスタートです。



まず、今日の作業内容の説明と、公園まつりで実施するプログラムを現場でシミュレーションしました。

参加者の行動を想定し、観察したり、作業したりする場所の整理をします。



プログラムの設定ルートには、大きく成長したアカメガシワやハリエンジュ、コセンダングサなどがあります。萌芽更新を阻害する植物でもあるこれらを抜きました。



生きもののすっかり見られなくなったこの季節に、コカマキリが姿を見せてくれました。



この赤い実はヒヨドリジョウゴの実。

ヒヨドリが好んで食べることから名づけられたといわれていますが、ヒヨドリはあまり食べないみたいです。たくさんの実が残っていました。



抜いたり、伐採した枝などは放置せず、ルートから除き、子どもでも歩きやすくしました。
作業中、雨が強くなってきたので午前は早めに終了しました。



里山体験館へ戻る途中にある水鳥の池にはたくさんのマガモがやってきていました。
午後は月末に行われる「谷戸山公園まつり」のプログラムについての詰めの会議をしました。



実施するプログラムの詳細について話し合いました。
自然再生などに関わる上で、他者に「伝える」ことはとても大切です。
苦手な人もこのような機会に関わり、考えることはそれだけで勉強になります。



最後に参加者の年齢に応じたクラフトでの製作物、まつりでの担当決め、各担当の準備物の確認などをして今回の研修会は終了です。

今年の研修会も残すところあと1回になりました。

次回の研修会では公園内を回ってこれまでの作業場所や様々な環境を視察・解説する予定となっています。興味のある方は是非ご参加ください。